

亀ちゃんの「マネジメントノート」

皆さんこんにちは。私が三重県に初めて勤務した平成20年7月、いわゆる「指定官職」と呼ばれていますが、国税庁長官の辞令を受け津に着任しました。いよいよ幹部職員として身の引き締まる思いで何か自己研さんをしないと世間の荒波に部下をさらすこととなると感じ、沢山の書籍等を勉強しました。そのエッセンスを記録しているのが「マネジメントノート」です。

法人会のいわゆる良き経営者の皆様方に披露するのはおこがましいですが、この中から一部を抜粋してみましたので参考となれば幸いです。当然、税務署の統括官等にはみっちり研修していることは言うまでもありません。

●京セラ 稲盛和夫名誉会長「人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力」

考え方…前向き、素直、明るい 考え方×熱意…信念

ポジティブな考え方 ⇒ 熱意 ⇒ 能力が劣っていても将来的には結果を出す

考え方がマイナス ⇒ 熱意があってもマイナスの道

eX. A氏 $-10 \times 50 \times 20 = \triangle 10,000$ B氏 $+10 \times 10 \times 10 = +1,000$

考え方、例えば「仕事がいっぱい来た」…

能力が磨ける、ありがたい ⇒ プラス

年収が足りない、やってられない ⇒ マイナス

●ザイアンスの法則（ロバート ザイアンス 米国心理学者）

①人間は知らない人には攻撃的・冷淡な対応をする。

②人間は会えば会うほど好意を持つようになる。

③人間は相手の人間的な側面を知った時より強く相手に好意を持つようになる。

⇒ ①とにかく声をかける ②積極的にものを尋ねる ③自分の想いを伝える

●笑いは組織の活性化度合いを図るバロメーター … 笑い与会話の量は相関関係

●COCOストア「ニコニコ きびきび ハキハキ」

●孫子の兵法「彼を知り己を知れば 百戦して殆うからず」

中国3000年の歴史、戦いの歴史、「孫子」兵法書！

①人間に対する深い洞察力…科学が進歩しても動かすのは人間

②柔軟な発想…無理がない

③合理的な思考

どうすれば戦いに勝てるのか、戦略・戦術のエッセンス、戦争とは、勝てば生き残れるし、負ければ滅びてしまう、国や民族にとってはぎりぎりの局面 ⇒ 危機管理の思想

「孫子」で説かれている戦略・戦術は、大きく二つの前提の上に成り立っています。

第一は、勝算なきは戦うなかれ…勝つ見込みのない戦いはするな、ということ。

第二は、戦わずして勝つ、ということ。「弱」をもって「強」に勝つ戦略・戦術を追求

日本では戦国時代に多くの武将が「孫子」の兵法を活用しました。なかでも有名なのは甲斐の武田信玄です。彼は「孫子」軍争篇から、「風林火山」の四字を借りて旗印としたほどで、その戦い方は「孫子」の兵法にきわめて忠実であったといわれています。

「孫子」は、始計篇から始まって、作戦、謀攻（ぼうこう）、軍形、兵勢、虚実、軍争、九変（きゅうへん）、行軍（こうぐん）、地形、九地（きゅうち）、火攻（かこう）、用間の計13編で構成こ